

PRIMERGY

CX122 S1 対応





OS の手動インストール

本書をお読みになる前に

本書の表記

■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。

■ キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。

例：【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど

■ DVD-ROM ドライブの表記について

本書では、DVD-ROM ドライブを「DVD ドライブ」と表記しています。

■ コマンド入力（キー入力）

本文中では、コマンド入力を次のように表記しています。

diskcopy a: a:

↑ ↑

- ↑の箇所のように文字間隔を空けて表記している部分は、【Space】キーを1回押してください。
- 使用するOSがWindowsまたはDOSの場合は、コマンド入力を英大文字、英小文字のどちらで入力してもかまいません。
- お使いの環境によって、「¥」が「\」と表示される場合があります。
- DVDドライブのドライブ文字は、お使いの環境によって異なるため、本書では「DVD ドライブ」で表記しています。入力の際は、お使いの環境に合わせて、ドライブ文字を入力してください。

「DVD ドライブ」：¥setup.exe

■ 画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■ 他のマニュアルの表記

本文中では、本書以外のマニュアルを『(マニュアル名称)』と表記しています。

■ 連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつないで表記しています。

例：「スタート」ボタンをクリックし、「すべてのプログラム（またはプログラム）」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作

↓

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

■ 製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称の略称

製品名称	本文中の表記					
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard	Windows Server 2008 Standard (32-bit)	Windows Server 2008 Standard	Windows Server 2008	Windows		
	Windows Server 2008 Standard (64-bit)					
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard without Hyper-V™	Windows Server 2008 Standard (32-bit)					
	Windows Server 2008 Standard (64-bit)					
Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise	Windows Server 2008 Enterprise (32-bit)	Windows Server 2008 Enterprise				
	Windows Server 2008 Enterprise (64-bit)					
Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise without Hyper-V™	Windows Server 2008 Enterprise (32-bit)					
	Windows Server 2008 Enterprise (64-bit)					
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard	Windows Server 2008 R2 Standard					
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise	Windows Server 2008 R2 Enterprise					
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard Edition	Windows Server 2003					
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition	Windows Server 2003 R2					
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard x64 Edition	Windows Server 2003 x64 [注 1]					
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition	Windows Server 2003 R2 x64					
Microsoft® Windows® Small Business Server 2003	SBS 2003 [注 1]					
Microsoft® Windows® Small Business Server 2003 R2	SBS 2003 R2					
Microsoft® Windows Server® 2003 Service Pack	Service Pack					
Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Service Pack						

[注 1] 本書内で特に断りがない箇所は、Windows Server 2003 に含まれます。

Windows Server 2008 の対応状況については、弊社 HP (<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/windows/>) に随時最新情報を掲載しています。ご確認ください。

■ 商標

Microsoft、Windows、Windows Server、Hyper-V は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

インテル、Intel は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

Copyright FUJITSU LIMITED 2011

目次

第 1 章	Windows Server 2008 R2 のインストール	6
1.1	インストール前の準備	7
1.1.1	ドライバディスクの作成	7
1.1.2	アレイの構成	8
1.1.3	内蔵オプションの取り付け	8
1.2	インストール手順	9
第 2 章	Windows Server 2008 R2 Server Core のインストール	15
2.1	インストール前の準備	16
2.1.1	ドライバディスクの作成	16
2.1.2	アレイの構成	17
2.1.3	内蔵オプションの取り付け	17
2.2	インストール手順	18

第 1 章

Windows Server 2008 R2 のインストール

手動で Windows Server 2008 R2 をインストール
する手順を説明します。

- 1.1 インストール前の準備
- 1.2 インストール手順

[注]Windows Server 2008 R2 の対応状況について

弊社 HP(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/windows/>) に随時最新情報を掲載しておりますので、ご確認ください。

また、一部の製品では、製品添付のソフトウェアは Windows Server 2008 R2 に対応していません。

1.1 インストール前の準備

インストールを開始する前に必要な準備について説明します。

1.1.1 ドライバディスクの作成

- インストールに必要なドライバディスクをあらかじめ作成します。
- Web (<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>) からダウンロードしてドライバを作成する方法については、Web に公開されている手順書をご覧ください。
 - ハードウェアの構成により作成するドライバディスクが異なります。ご使用の構成をご確認のうえ、ドライバディスクを作成してください。



最新のドライバは、インターネット情報ページ内の『ダウンロード』で提供しています。
<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>

オンボード LAN / 拡張カード / アレイコントローラ	ドライバ
オンボード LAN / LAN カード (Dual port Gbit [PG-2862 相当] / Quad port Gbit [PG-2871 相当])	Onboard/PG-28xx/LND20x LAN Driver V15.6
ディスプレイドライバ	Device Driver_iRMC Windows 32Bit and 64Bit VGA driver for Matrox_R210_04_30_2010 5.98.006.0_1051099
上記以外の拡張カード	各拡張カードに添付のドライバ
オンボードソフトウェア RAID (Embedded MegaRAID SATA)	Embedded MegaRAID SATA Windows Driver V13.21.0614.2010
オンボード SATA	OS 標準提供のドライバ

1.1.2 アレイの構成

アレイ構成で運用を行う場合は、OS をインストールする前に、アレイを構成してください。
使用するアレイコントローラにより、作成方法が異なります。
アレイの構成については次のマニュアルをご覧ください。

オンボードソフトウェア RAID (Embedded MegaRAID SATA) をご使用の場合

ServerView Suite DVD 2 内にある『Embedded MegaRAID SATA ユーザーズガイド』の「第 2 章 アレイの構成 (SATA セットアップユーティリティ)」をご覧ください。

1.1.3 内蔵オプションの取り付け

OS インストールの前に、内蔵オプションを取り付けます。内蔵オプションの取り付け方法については、ServerView Suite DVD 内 2 の『オプションガイド』をご覧ください。



OS をインストールするサーバに、次の内蔵／外付けオプション装置がすでに取り付けられている場合は、次の「■ OS インストール前の留意事項」を必ずご確認ください。留意事項を確認せずに OS をインストールすると、誤った媒体に OS がインストールされる場合がありますので、ご注意ください。

- ・内蔵データカートリッジドライブユニット
- ・ETERNUS などの外付けストレージシステム

■ OS インストール前の留意事項

● SATA ハードディスクをご使用の場合

オンボード SATA コントローラに 2 本以上の SATA ハードディスクを接続し、アレイ構成をしないで OS インストールする場合には、OS インストールに使用しない SATA ハードディスクは本体よりはずしてください。
インストール完了後再度取り付けて、ご使用ください。

1.2 インストール手順

Windows Server 2008 R2 の手動インストール手順について説明します。

■用意するもの

- Windows Server 2008 R2 の DVD (インストールディスク)
- あらかじめ用意したドライバを記録した媒体



CX122 S1 には USB ポートが 2 つ用意されています。OS をインストールする際には、以下のデバイスを接続して電源を投入してください。

- キーボード
- DVD ドライブ

1 Windows Server 2008 R2 の DVD-ROM を準備します。

サーバの電源を入れた直後に Windows Server 2008 R2 の DVD-ROM を DVD ドライブにセットします。

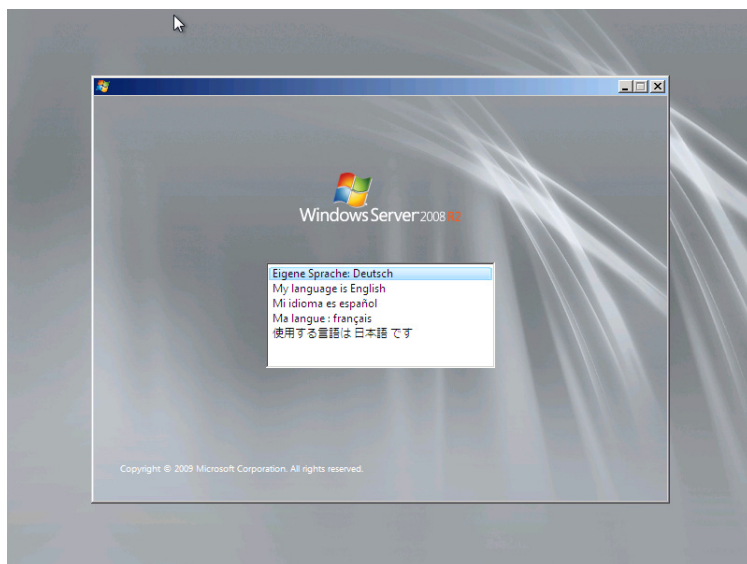
ハードディスクにアクティブ領域が設定されていると、画面に次のメッセージが表示されます。

Press any key to boot from CD or DVD

この場合、メッセージが表示されている間に何かキーを押すことで、DVD-ROM からブートします。

2 Windows Server 2008 R2 インストールのセットアップ画面が表示されます。

セットアップ画面の前に、次のような言語選択画面が表示されます。
使用する言語は 日本語 です。



セットアップ画面に従って各項目を設定した後、[次へ] をクリックします。その後、セットアップ画面に従って、インストール作業を続行します。



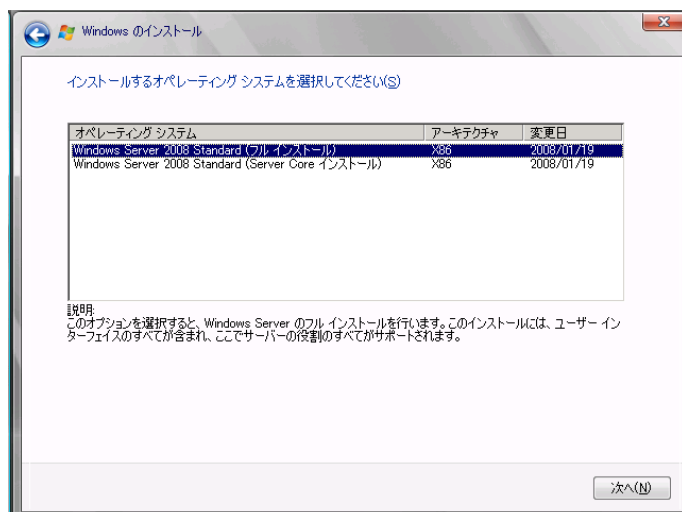
キーボードによる操作は以下のように行います。

- ・ 選択する項目の移動： [Tab] 又は [Shift] + [Tab] 又は カーソルキー
- ・ チェックを入れる・外す： [Space]
- ・ フォルダを閉じる・開く： カーソルキーの [←] および [→]

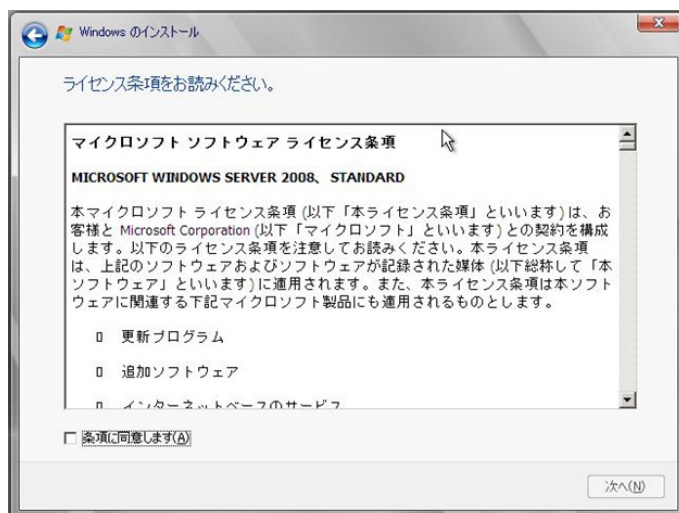


3 インストールする Operating System を選択します。

次の画面から「Windows Server 2008 R2 Standard (フルインストール)」または「Windows Server 2008 R2 Enterprise (フルインストール)」を選択します。



- 4 次の画面が表示されたら内容をよく読んだうえで、[条項に同意します] にチェックをつけて、[次へ] をクリックします。



- 5 RAID のドライバを手動で組み込みます。

使用するドライバにより手順が異なります。

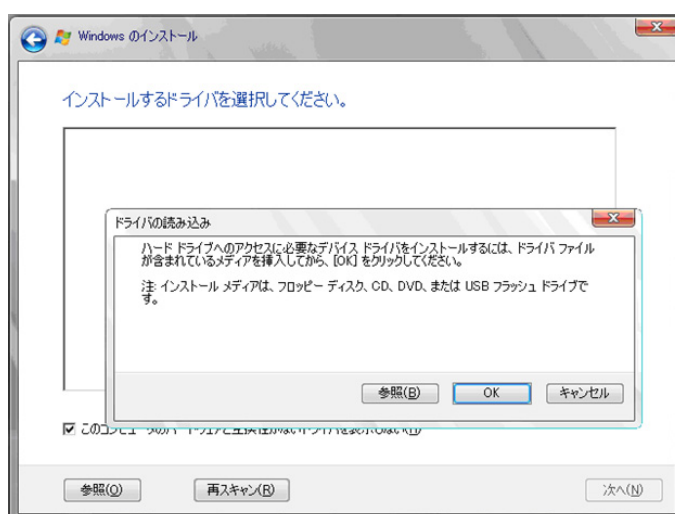
- ・ [オンボードソフトウェア RAID（Embedded MegaRAID SATA）使用時 \(P.12\)](#)
- ・ [アレイ未構成時（SATA ハードディスク） \(P.13\)](#)

オンボードソフトウェア RAID (Embedded MegaRAID SATA) 使用時

- 1 次の画面が表示された後、「ドライバの読み込み」をクリックしドライバインストール画面に移動します。



- 2 次の画面で、ドライバを記録した媒体をセットした後、[参照] をクリックします。



- ・媒体が CD の場合、Windows インストール DVD を DVD ドライブから一旦抜き取って、代わりにドライバ CD をセットします。
- ・媒体が USB メモリの場合、DVD ドライブの USB ケーブルをサーバ本体から抜いて、USB メモリを接続します。

- 3 インストールドライバの入っているフォルダを選択します。

- 4 下記のドライバを選択し [次へ] をクリックしてください。

LSI Embedded MegaRAID

- 5 ドライバの読み込みが終わったら、再び Windows インストール DVD をセットし、READY 状態（アクセスランプが緑色に点灯）になってから、画面の「最新の情報に更新」をクリックします。



- ・ ドライバを読み込んだ直後に、以下のメッセージが画面下に表示されるので、上記 5 の操作を実行してメッセージを消します。

このドライブに Windows をインストールすることはできません

- ・ ドライバ CD や USB メモリをセットしたまま「最新の情報に更新」を実行すると、それ以降、パーティション作成等を実行しても、上記のメッセージが消えず、「次へ」ボタンがグレースアウトされたままになるため、インストール作業が進まない場合があります。
- ・ 必ず上記 5 のタイミングでメッセージを消してください。
- ・ 手順を間違えた場合はインストールを最初からやりなおしてください。

- 6 以降は、手順 6 OS をインストールします。(P.13) へ進みます。

アレイ未構成時（SATA ハードディスク）

ドライバの手動インストールは不要です。手順 6 OS をインストールします。(P.13) へ進みます。

6 OS をインストールします。

セットアッププログラムの指示に従って、インストール作業を続行します。
インストール途中、ドライバが Windows との互換性を検証する Windows ロゴテストに合格していない旨のメッセージが表示された場合は、「はい」を選択してインストールを続行してください。

7 LAN ドライバをインストールします。

以下の Web から最新の LAN ドライバをダウンロードして、そのドライバと同時にダウンロードできる手順書にしたがって LAN ドライバをインストールしてください。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/>

また、デバイスマネージャで表示されるオンボード LAN の名称は次のようになります。

Intel® 82576NS Gigabit Ethernet Controller

8 ディスプレイドライバをインストールします。

下記 Web から該当のディスプレイ ドライバをダウンロードして、そのドライバと同時にダウンロードできる手順書にしたがってディスプレイ ドライバをインストールしてください。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/>

次のファイルをダブルクリックして実行します。

[ドライブ] : ¥R210¥install_kronos2_vga.bat

9 RAID 管理ツール（ServerView RAID Manager）のインストールを行います。

アレイコントローラの『ユーザーズガイド』をご覧の上、必要な設定を実施してください。

10 必要な OS のホットフィックスをインストールします。

安定稼働のために、下記 URL の「留意事項」に必要なホットフィックスの情報を掲載しておりますので、ご覧になり、対応してください。なお、ホットフィックスの入手については、マイクロソフトのダウンロードセンターより入手していただくか、SupportDesk 契約を結んでいるお客様は、SupportDesk へお問い合わせください。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/windows/os/2008-r2/>

これで Windows Server 2008 R2 のインストールは終了です。
その他のドライバのインストールについては各ドライバのマニュアルを参照してください。

■ 運用を開始する前に

OS インストール後は、各ツールのマニュアルおよびアレイコントローラのユーザーズガイドをご覧ください。必要な設定を行ってください。

第 2 章

Windows Server 2008 R2 Server Core のインストール

手動で Windows Server 2008 R2 Server Core
をインストールする手順を説明します。

- 2.1 インストール前の準備
- 2.2 インストール手順

[注]Windows Server 2008 R2 の対応状況について

弊社 HP(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/windows/>) に随時最新情報を掲載しておりますので、ご確認ください。

また、一部の製品では、製品添付のソフトウェアは Windows Server 2008 R2 に対応していません。

2.1 インストール前の準備

インストールを開始する前に必要な準備について説明します。

2.1.1 ドライバディスクの作成

インストールに必要なドライバディスクをあらかじめ作成します。

- Web (<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>) からダウンロードしてドライバを作成する方法については、Web に公開されている手順書をご覧ください。
- ハードウェア構成により作成するドライバディスクが異なります。ご使用の構成をご確認のうえ、ドライバディスクを作成してください。



最新のドライバは、インターネット情報ページ内の『ダウンロード』で提供しています。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>

オンボード LAN / 拡張カード / アレイコントローラ	ドライバ
オンボード LAN / LAN カード (Dual port Gbit [PG-2862 相当] / Quad port Gbit [PG-2871 相当])	Onboard/PG-28xx/LND20x LAN Driver V15.6
ディスプレイドライバ	Device Driver_iRMC Windows 32Bit and 64Bit VGA driver for Matrox_R210_04_30_2010 5.98.006.0_1051099
上記以外の拡張カード	各拡張カードに添付のドライバ
オンボードソフトウェア RAID (Embedded MegaRAID SATA)	Embedded MegaRAID SATA Windows Driver V13.21.0614.2010
オンボード SATA	OS 標準提供のドライバ

2.1.2 アレイの構成

アレイ構成で運用を行う場合は、OS をインストールする前に、アレイを構成してください。
使用するアレイコントローラにより、作成方法が異なります。
アレイの構成については次のマニュアルをご覧ください。

オンボードソフトウェア RAID (Embedded MegaRAID SATA) をご使用の場合

ServerView Suite DVD 2 内にある『Embedded MegaRAID SATA ユーザーズガイド』の「第 2 章 アレイの構成 (SATA セットアップユーティリティ)」をご覧ください。

2.1.3 内蔵オプションの取り付け

OS インストールの前に、内蔵オプションを取り付けます。内蔵オプションの取り付け方法については、ServerView Suite DVD 2 内の『オプションガイド』をご覧ください。



OS をインストールするサーバに、次の内蔵／外付けオプション装置がすでに取り付けられている場合は、次の「■ OS インストール前の留意事項」を必ずご確認ください。留意事項を確認せずに OS をインストールすると、誤った媒体に OS がインストールされる場合がありますので、ご注意ください。

- ・内蔵データカートリッジドライブユニット
- ・ETERNUS などの外付けストレージシステム

■ OS インストール前の留意事項

● SATA ハードディスクをご使用の場合

オンボード SATA コントローラに 2 本以上の SATA ハードディスクを接続し、アレイ構成をしないで OS インストールする場合には、OS インストールに使用しない SATA ハードディスクは本体よりはずしてください。
インストール完了後再度取り付けて、ご使用ください。

2.2 インストール手順

Windows Server 2008 R2 Server Core の手動インストール手順について説明します。

■用意するもの

- Windows Server 2008 R2 の DVD (インストールディスク)
- あらかじめ用意したドライバを記録した媒体



CX122 S1 には USB ポートが 2 つ用意されています。OS をインストールする際には、以下のデバイスを接続して電源を投入してください。

- キーボード
- DVD ドライブ

1 Windows Server 2008 R2 の DVD-ROM を準備します。

サーバの電源を入れた直後に Windows Server 2008 R2 の DVD-ROM を DVD ドライブにセットします。

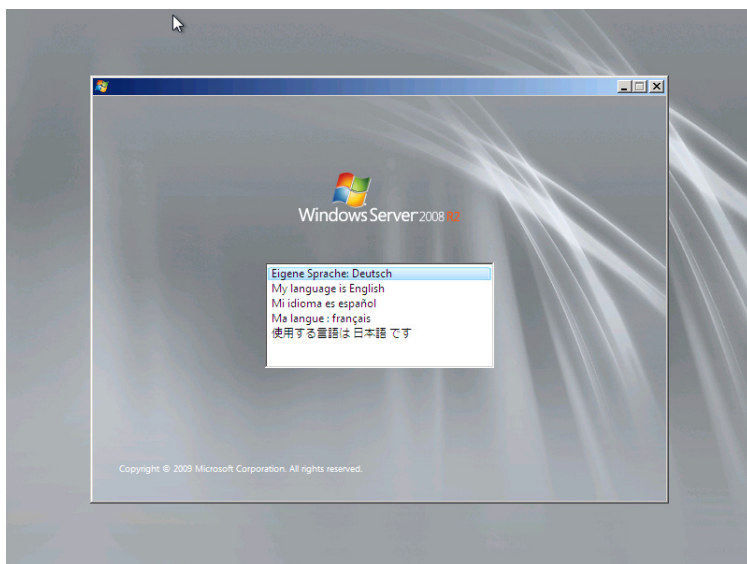
ハードディスクにアクティブ領域が設定されていると、画面に次のメッセージが表示されます。

Press any key to boot from CD or DVD . . .

この場合、メッセージが表示されている間に何かキーを押すことで、DVD-ROM からブートします。

2 Windows Server 2008 R2 インストールのセットアップ画面が表示されます。

セットアップ画面の前に、次のような言語選択画面が表示されます。
使用する言語は 日本語 です。



セットアップ画面に従って各項目を設定した後、[次へ] をクリックします。その後、セットアップ画面に従って、インストール作業を続行します。



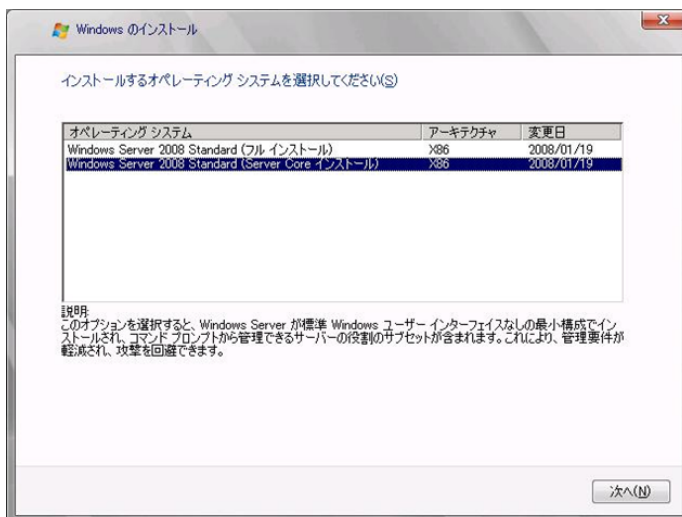
キーボードによる操作は以下のように行います。

- ・ 選択する項目の移動： [Tab] 又は [Shift] + [Tab] 又は カーソルキー
- ・ チェックを入れる・外す： [Space]
- ・ フォルダを閉じる・開く： カーソルキーの [←] および [→]

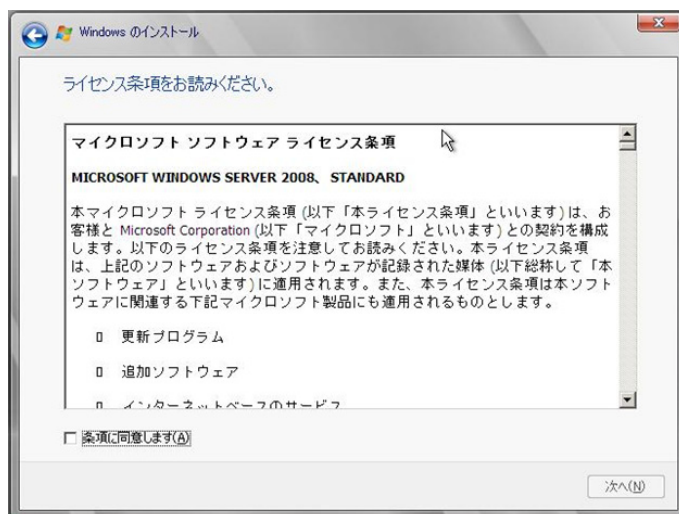


3 インストールする Operating System を選択します。

次の画面から「Windows Server 2008 R2 Standard (Server Core インストール)」または「Windows Server 2008 R2 Enterprise (Server Core インストール)」を選択します。



- 4 次の画面が表示されたら内容をよく読んだうえで、[条項に同意します] にチェックをつけて、[次へ] をクリックします。



- 5 RAID のドライバを手動で組み込みます。

使用するドライバにより手順が異なります。

- ・ [オンボードソフトウェア RAID \(Embedded MegaRAID SATA\) 使用時 \(P.21\)](#)
- ・ [アレイ未構成時 \(SATA ハードディスク\) \(P.22\)](#)

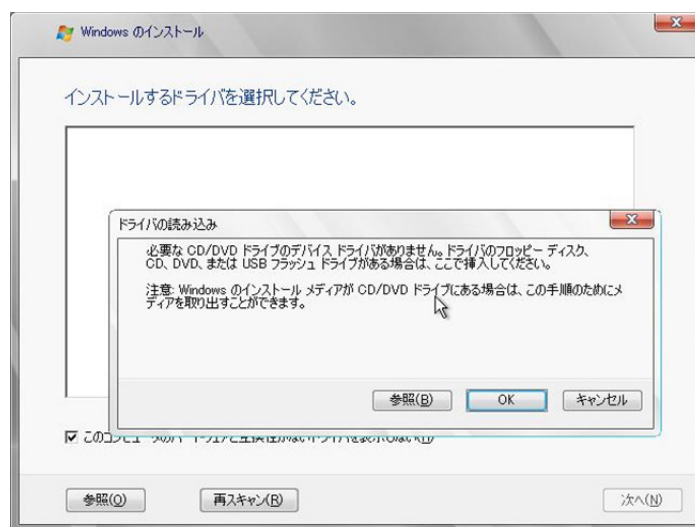
システムの構成によっては、手順 3、手順 4 と順序が逆になることがあります。

オンボードソフトウェア RAID (Embedded MegaRAID SATA) 使用時

- 1 次の画面が表示された後、「ドライバの読み込み」をクリックしドライバインストール画面に移動します。



- 2 次の画面で、ドライバを記録した媒体をセットした後、[参照] をクリックします。



- ・媒体が CD の場合、Windows インストール DVD を DVD ドライブから一旦抜き取って、代わりにドライバ CD をセットします。
- ・媒体が USB メモリの場合、DVD ドライブの USB ケーブルをサーバ本体から抜いて、USB メモリを接続します。

- 3 インストールドライバの入っているフォルダを選択します。
- 4 下記のドライバを選択し [次へ] をクリックしてください。

LSI Embedded MegaRAID

- 5 ドライバの読み込みが終わったら、再び Windows インストール DVD をセットし、READY 状態（アクセスランプが緑色に点灯）になってから、画面の「最新の情報に更新」をクリックします。



- ・ドライバを読み込んだ直後に、以下のメッセージが画面下に表示されるので、上記 5 の操作を実行してメッセージを消します。

このドライブに Windows をインストールすることはできません

- ・ドライバ CD や USB メモリをセットしたまま「最新の情報に更新」を実行すると、それ以降、パーティション作成等を実行しても、上記のメッセージが消えず、「次へ」ボタンがグレイアウトされたままになるため、インストール作業が進まない場合があります。
- ・必ず上記 5 のタイミングでメッセージを消してください。
- ・手順を間違えた場合はインストールを最初からやりなおしてください。

- 6 以降は、手順 6 OS をインストールします。(P.22) へ進みます。

アレイ未構成時（SATA ハードディスク）

ドライバの手動インストールは不要です。手順 6 OS をインストールします。(P.22) へ進みます。

6 OS をインストールします。

セットアッププログラムの指示に従って、インストール作業を続行します。
インストール途中、ドライバが Windows との互換性を検証する Windows ロゴテストに合格していない旨のメッセージが表示された場合は、「はい」を選択してインストールを続行してください。

7 LAN ドライバをインストールします。

以下の Web から最新の LAN ドライバをダウンロードして、そのドライバと同時にダウンロードできる手順書にしたがって LAN ドライバをインストールしてください。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/>

また、デバイスマネージャで表示されるオンボード LAN の名称は次のようになります。

Intel® 82576NS Gigabit Ethernet Controller

8 SNMP サービスをインストールします。

- 1 次のコマンドを実行します。（大文字・小文字の区別がされます）
>start /w ocsetup SNMP-SC
- 2 正常にインストールされていることを確認します。
>oclist | findstr SNMP

実行後、次のメッセージが表示されていれば、正常にインストールされています。

インストール済み：SNMP-SC

9 RAID 管理ツール（ServerView RAID Manager）のインストールを行います。

アレイコントローラの『ユーザーズガイド』をご覧の上、必要な設定を実施してください。

10 必要な OS のホットフィックスをインストールします。

安定稼働のために、下記 URL の「留意事項」に必要なホットフィックスの情報を掲載しておりますので、ご覧になり、対応してください。なお、ホットフィックスの入手については、マイクロソフトのダウンロードセンターより入手していただくか、SupportDesk 契約を結んでいるお客様は、SupportDesk へお問い合わせください。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/windows/os/2008-r2/>

これで Windows Server 2008 R2 Server Core のインストールは終了です。
その他のドライバのインストールについては各ドライバのマニュアルを参照してください。

■ 運用を開始する前に

OS インストール後は、各ツールのマニュアルおよびアレイコントローラのユーザズガイドをご覧になり、必要な設定を行ってください。

OS の手動インストール
CA92276-8965-01
発行日 2011 年 1 月
発行責任 富士通株式会社

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。